機械器具(01) 手術台及び治療台
一般医療機器 婦人科用診療・処置台 36065000

メグジョイ EX

【警 告】

使用方法

●本品の作動範囲内に人や機器類があると危険です。作動させる場合は、安全を確認してから操作すること。
［作動範囲内に障害物があると、破損やけがの原因になります。］

●支脚器の開脚作動時は、患者の状態に充分注意して、過度の開脚を避けるようにすること。
［けがの原因になる恐れがあります。］

【禁忌・禁止】

併用医療機器

●高周波を発生する機器を、本器の周辺で使用しないこと。
［医用電気メスや携帯電話等の高周波を発生する機器を、本品の作動中に周辺で使用すると、電波障害による誤作動の原因になります。］

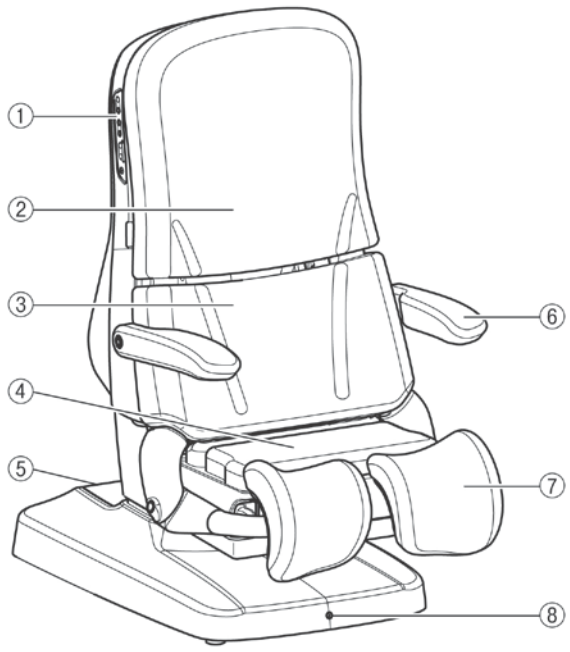
【形状・構造及び原理等】

本品は本体の型式(回転タイプ、スライドタイプ、固定タイプ)およびフルフラット機能(安静体位のあり、なし)の違いにより 6 タイプがあります。

	回転タイプ	スライドタイプ	固定タイプ
フルフラット機能あり	AR	AS	A
フルフラット機能なし	BR	BS	B

●各部の名称

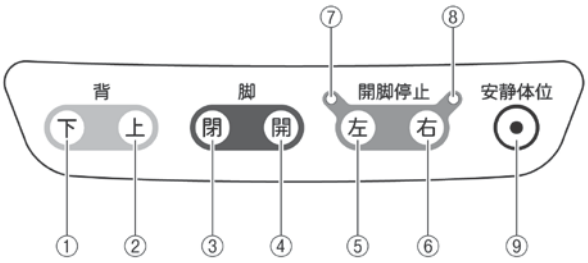
(1)本体(代表例)



固定タイプ

番号	名 称	番号	名 称
①	上部操作スイッチ	⑤	電源パネル
②	背板	⑥	肘受
③	腰板	⑦	支脚器
④	座部	⑧	フットスイッチ受光部

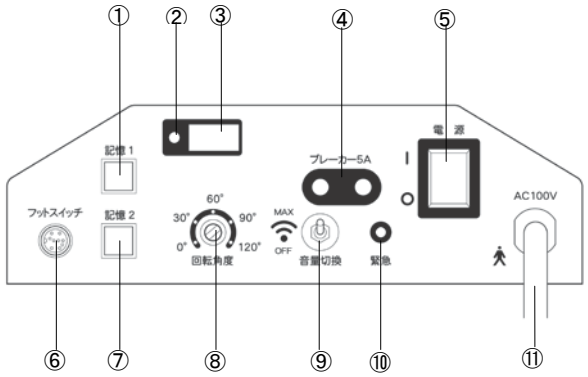
(2)上部操作スイッチ



番号	名 称	番号	名 称
①	背下降スイッチ	⑥	右開脚停止スイッチ
②	背上昇スイッチ	⑦	左開脚停止表示
③	支脚器閉脚スイッチ	⑧	右開脚停止表示
④	支脚器開脚スイッチ	⑨	安静体位スイッチ※
⑤	左開脚停止スイッチ		

※安静体位スイッチは、フルフラットタイプのみの機能です。

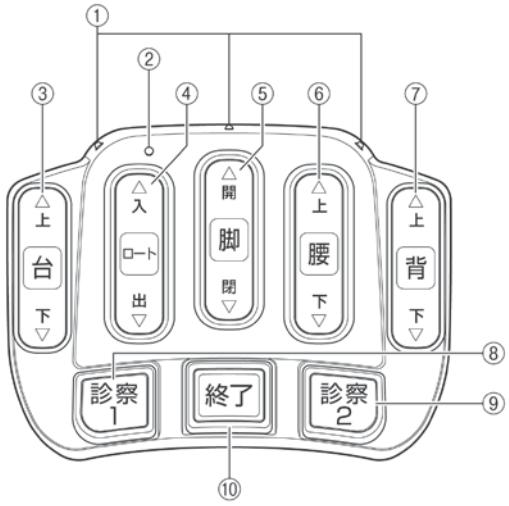
(3)電源パネル



番号	名 称	番号	名 称
①	記憶1スイッチ	⑦	記憶2スイッチ
②	警報表示	⑧	回転角度調節ボリューム
③	リモコンシステムコード表示/エラー表示	⑨	音量切換スイッチ
④	ブレーカー(5A)	⑩	緊急下降スイッチ
⑤	電源スイッチ	⑪	電源コード
⑥	フットスイッチコネクター		

取扱説明書を必ずご参照ください

⑷フットスイッチ



番号	名　称	番号	名　称
①	送光部	⑥	腰上昇/下降スイッチ
②	信号出力ランプ	⑦	背上昇/下降スイッチ
③	台上昇/下降スイッチ	⑧	診察1開始スイッチ
④	ロート入/出スイッチ	⑨	診察2開始スイッチ
⑤	支脚器開脚/閉脚スイッチ	⑩	診察終了スイッチ

●寸法

回転タイプ:幅 72 (転倒防止板+12) 奥行 123　高さ　133cm
スライドタイプ:幅 72　奥行 136　高さ　133cm
固定タイプ:幅 72　奥行 123　高さ　133cm

●重量

回転タイプ:約 170kg(フルフラットタイプ:約 178kg)※
スライドタイプ:約 178kg(フルフラットタイプ:約 187kg)
固定タイプ:約 150kg(フルフラットタイプ:約 159kg)
※回転タイプの重量は、転倒防止板を含めた重量です。

●電気的定格

定　格　電　圧	AC100 V±10%
周　波　数	50/60 Hz 共用
消　費　電　力	350 VA
デューティーサイクル	最大連続駆動時間　6 分
	停止時間　60 分以上
電撃に対する保護の形式	クラスⅠ機器
電撃に対する保護の程度	B 型装着部

●安全機能

・動作中、フットスイッチのいずれかのスイッチを踏むと停止する。
・終了時の自動動作中、支脚器に障害物が当たる等で腰板が意図せず上がった場合、アラームが鳴って動作が停止する。

●原理

本品は電動で動作し、台の昇降、背板・腰板の傾斜、支脚器の開閉、および汚水ロートの出し入れができる。また、機種により検診台の回転、スライドができる。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、婦人科領域の診察及び処置時に、女性の体位を適切な位置に支持するために用いる調節可能な診療・処置台である。

【品目仕様等】

(1) 昇降範囲　80～100 cm (±2 cm)
(2) 可動角度
　腰板傾斜　水平～30゜(±5゜)
　背板傾斜　－10゜～15゜(±5゜)
　支脚器開閉　0゜～35゜(±5゜)
　乗降回転　0゜～120゜(±5゜)

【操作方法又は使用方法等】

1 診察体位の設定

(1) 電源スイッチを ON にします。
(2) 「診察 1 開始スイッチ」または「診察 2 開始スイッチ」を踏み、あらかじめ記憶された体位まで作動させます。
(3) 希望する診察体位になるまで、フットスイッチで台の昇降、腰板・背板の傾斜および汚水ロート出入りの微調動作を行います。
(4) 本体ベース後面の電源パネルにある「記憶 1 スイッチ」または「記憶 2 スイッチ」を押し、設定した診察体位を記憶させます。
(5) フットスイッチの「診察終了スイッチ」を踏み、患者の乗降位置まで自動動作させます。

2 診察等

(1) 本品が患者乗降位置になっていることを確認し、患者を腰掛けさせます。
(2) フットスイッチの「診察 1 開始スイッチ」または「診察 2 開始スイッチ」を踏み、記憶させた診察体位まで自動動作させます。
(3) 「支脚器開脚スイッチ」を踏み、適切な体位にして診察等を行います。
(4) 診察等の終了後は、フットスイッチの「診察終了スイッチ」を踏み、患者の乗降位置まで自動動作させ、本品が確実に停止したことを確認してから患者を立ち上がらせます。

3 清拭・消毒

●清拭

・清拭前には電源ケーブルをコンセントから外します。
・工具を用いての分解は行わないでください。
・石鹸水等を少量含ませた柔らかい生地を使い清拭します。
・研磨剤を含む洗剤や洗浄液を使用しないでください。
・清拭後は、湿気を柔らかい布などで拭きとってください。
・清拭中は本品を駆動させないでください。

●消毒

・消毒液の一例として、下記の水溶液を使用することを推奨します。
　塩化ベンザルコニウム水溶液(オスバン等)
　塩化ベンゼトニウム水溶液(ハイアミン等)
　クロールヘキシジン水溶液(ヒビテン等)
・消毒液は必ず希釈し、原液のまま使用しないでください
・塩素系の消毒液を使用しないでください。
・アルコールを含む消毒液を使用しないでください。
・消毒用スプレーは使用しないでください。

【使用上の注意】

●本品の設置をする際は、ベーススストッパーを回して確実に固定すること。また、転倒防止板(固定タイプは除く)を確実に固定すること。
[転倒や移動などにより、破損やけがの原因になります。]
●本品の動作電圧範囲(AC100V±10%、50/60Hz)以外の電源では使用しないこと。

●電源コンセントは本品の近くで、電源コードに人が触れない位置を選び、機器 1 台ごとに専用のコンセントを用いること。
また、電源コードは、正しくアースされた3芯接地型コンセントだけに接続し、アースを確実にとること。

●絶対に延長コードを使用しないこと。

●本品が正常に作動しないときは、すぐに使用を中止すること。
[過熱して火災や感電の原因になります。]

●台を作動させるときは、作動範囲内の安全を充分に確認してから操作すること。
[けがや故障の原因になります。]

●背板・腰板の傾斜、支脚器の開閉、あるいは汚水ロートの出し入れなどを作動させるときは、動作範囲内の安全を充分確認してから操作すること。

●自動動作を停止させるときは、フットスイッチでのいずれかのスイッチまたは、上部操作スイッチの背上昇/下降および支脚器開閉/閉脚スイッチのいずれかを押すこと。

●座部、支脚器および肘受などの使用時には、それぞれが確実にロックされていることを確認すること。
[けがの原因になります。]

●汚水ロートに乗ったり、足をかけないこと。
[汚水ロートの破損や、けがの原因になります。]

●座部の両側面にある座部解除レバーは、安静体位時以外は使用しないこと。
[けがの原因になります。]

●分解や改造をしないこと。
[火災や感電、けがの原因になります。]

【貯蔵・保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

周囲温度 ： −20～45℃
相対湿度 ： 10～95%(結露なきこと)
気　　圧 ： 70～106 kPa

2. 耐用期間

本品の耐用期間は 6 年間です。[自己認証データによる]

【保守・点検に係る事項】

本品を安全に、より長い間ご使用いただくために、取扱説明書の第 6 章の記載に従って、保守点検を実施してください。保守点検には「使用前の点検」、「3 ヶ月毎の点検」があります。
また、定期的に交換が必要な部品があります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1
TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)

■製造業者

アトムメディカル株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-15
TEL:03-3815-2311(大代表) FAX:03-3812-3144(代表)